



4.29(木・祝)~8.29(日)土日開催「特別展 グラバーが運んだみらい展 蒸気のひみつ」開催中。GW期間(4/29~5/5)、夏休み期間(7/22~8/26)は毎日開催。

# PROGRAM

講演会



## 明治日本の産業革命遺産 サムライたちの挑戦

# 7.31 土

🕒 14:00-15:30

産業の重要性を感じた若きサムライたちが造船や鉄道開通にチャレンジした熱き活動をご紹介します。

日本は江戸時代の終わりごろ、イギリスやアメリカなど西洋の国々との交渉を開始しました。その過程でサムライたちは、日本が西洋に技術面で大きく後れをとっていることに気づきます。この講演では、「長州ファイブ」と呼ばれる若きサムライたちが産業の重要性を感じとり、造船や鉄道などを中心に、近代化にチャレンジした熱い活動ぶりをご紹介します。

**場所** 4F交流室1

状況によりオンライン(ZOOM)実施になる可能性もあります。

**対象** どなたでも

**定員** 30名

**参加費無料** ※HPより事前申込み



**講師** 道迫 真吾氏  
(萩博物館 総括学芸員)

萩博物館総括学芸員。1972年福岡県生まれ。1999年明治大学大学院文学研究科博士前期課程修了。専門は明治維新史、洋学史。「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼、造船、石炭産業—」(2015年)の世界遺産登録準備に関与し、その構成資産である萩反射炉をはじめとする幕末長州藩の科学技術史の研究に、現在も力を入れている。論文「萩反射炉再考」(『日本歴史』793号、2014年)、著書『萩の世界遺産—日本の工業化初期の原風景—』(萩ものがたり、2017年)などがある。

NHKプラタモリ「萩はなぜ世界遺産になった？」出演  
Eテレ「先人たちの底力知恵泉」出演

